



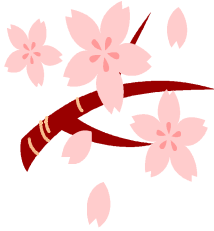
川原っ子

平成30年4月13日(金)

川原小学校 学校便り

No.1

ご入学、ご進級を心よりお喜び申し上げます



年度末の異動に伴い、新たに7名の職員が転入しました。新たな出会いを通して、子供たちの心も、教職員の心も、弾んでいます。

131名の川原っ子の健やかな成長を期して、総勢23名のスタッフが、誠心・誠意努める所存です。さらなるご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さあ 新しい気持ちで スタートを！

本年度から、中村校長の後を引き継いで川原小学校をあずからせていただくことになりました。赴任以来、朝玄関に立ち、子どもたちを迎えるよう心がけていますが、やさしい笑顔と元気なあいさつがすばらしいと思いました。地域の方々からは「何かあったら気軽に相談してください」など温かいお言葉を何度もいただきました。PTAの方々も自然に話しかけてくださいます。心温まる触れ合いを通し、川原が大好きになりそうです。

明るく素直な川原っ子たちのために、一生懸命頑張ることを誓います。

さて、4日(水)の始業式で、私は次のような話を子供たちにしました。

みなさんに大切にしてほしいことが2つあります。

一つ目は、人を思いやることです。

「思いやり」とは、自分の思いを相手にあげることを言います。相手の身になってその心を想像する気持ちをいうのです。下級生や困っている友達、ひとりぼっちでいる人がいたら、その人の気持ちを自分なりに想像して、一言でいいから温かいことばをかけてあげてください。人は一人一人が違い、相手の気持ちは、本来わかるはずはありません。でも、「私のことを気にかけてくれる人がいる」そのこと自体が、誰もがうれしいのです。あなたの、その一言がきっかけで、声をかけられた友達の心に元気が生まれ、温かい風が学校に吹くはずです。

二つ目は、前の中村校長先生がみなさんに学校の目当てとして覚えてほしいとお伝えになっていた言葉です。それは、「高め合う仲良し集団」という言葉です。授業では、わからないところをお互いに教え合い、教室全体で先生と一緒に学び合い、その結果として一人一人が大きく成長してほしいと願っています。先生たちも「仲良し集団」でがんばります。

学校とは、学力と社会性を高める場所であると思います。日々の授業を大切に、学び合いを通して、学力だけでなく人間関係をも深めることができたらと思います。また、道徳の時間を要として教育活動全体を通していのちの教育に取り組み、「社会性」の根底にある道徳性を、家庭や地域のご支援もいただきながら、少しずつ育み高めることができたらと考えています。

本校の教育活動に、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

校長 寺田 恵